

第1回 姫路駅北駅前広場整備推進会議 議事概要

No.	項目	意見の概要	市の考え方
1	会議運営について	<p>変更できない事項を議論しても無駄になるので、当会議における変更可能事項を明確にしておいて頂きたい。</p> <p>「最終的には事業に責任を負う行政が判断する」というのなら、意見を出しても計画に反映されないことになりかねない。</p> <p>当会議において市民参画のための部会を設け、市民意見を計画に反映させていくという仕組みを取り入れて頂きたい。</p> <p>市民意見をレイアウトなどに反映させるため、プロポーザル方式を取入れ、市民参画条件を募集要項に入れて頂きたい。</p>	<p>提案を計画に反映できるかは、内容を個々に検証していく必要があります。一番大事なことは法令適合であり、法令に抵触する内容のものはできません。また、提案内容によっては、財源確保の問題や費用対効果など色々な角度から検証し判断することになります。</p> <p>検討します。</p>
2	全体計画について	<p>市素案は、何処の街にもある変わり映えしない駅前である。姫路に降り立った時に、すごくいい街だと感じられるようなもの出来ないか。交通結節点ばかりを取り上げると殺風景なものになってしまう。</p> <p>駅前整備により、市民だけでなく多くの観光客が訪れて街が活性化し、さらに市民の利便性向上が望まれるという点において、市素案は、まだまだ検討の余地があると思う。</p> <p>本日発表されている市提案は、市内部で検討されたものか。それともコンサルタントなどに考えさせたものか。</p>	<p>駅前広場機能として、第一に交通利便性が基本となりますが、市としても「交通利便性」と「賑わいの創出」の両面を考えています。まず、市素案と共に各種団体から頂いた提案を紹介させて頂きました。今後「デザインコンセプト」の概念の共有、レイアウトの順に検討していきたいと考えています。</p> <p>基本的に、市内部で検討を重ねたものでありますが、イメージの図化などの作業をコンサルタントにさせている場合もあります。</p>
3	都市計画変更について	<p>新駅ビル用地の形状を変更することは、既に都市計画審議会承認されているのか。</p>	<p>11月11日に兵庫県都市計画審議会の承認を得ています。</p>

No.	項目	意見の概要	市の考え方
4	北駅前広場西側隣接街区（12街区）について	<p>市において12街区用地を取得する予定はあるのか。</p> <p>50年100年に一度の「姫路の顔づくり」を考える上で、12街区と駅前バスターミナル用地を含めて駅前広場レイアウトを考えるべきではないか。</p> <p>12街区も活用してバスターミナル形状を検討すれば、駅前広場をもっと有効に使えるのではないか。</p> <p>大手前通りと繋がるバスロータリーの出っ張り（北西角）が気になる。12街区を活用しバスロータリーを横長にすることで、もっとなだらかな形で繋ぐべきである。</p> <p>『賑わい』の空間というが、姫路の商業施設は飽和状態である。そのことを踏まえ、施設の中身は十分検討頂きたい。</p>	<p>12街区内の鉄道建設・運輸施設整備支援機構用地は、取得する方向で検討しています。取得できれば、1階部分を交通広場として担保し、西側からの一般車乗降機能を持たせた上で、上層階を『賑わい』の空間として民間事業者に活用して頂きたいと考えています。</p> <p>素案は、交通機能を示したものであります。バスロータリーの形状は、今後のバス事業再編にも影響されることから、まずデザインコンセプトの議論をした後、配置計画の検討をしたいと考えています。</p> <p>活用方法は、今後検討していきます。</p>
5	歩行者デッキについて	<p>大規模(広場機能を併せ持つ歩行者回廊)なものとしてはどうか。</p> <p>L字型に配置し、中央コンコースから駅前広場へ出た時の視認性(大手前通りや姫路城、駅西地区)を良くしてはどうか。</p> <p>動線を曲線にして楽しさを演出したり、城を眺望できるスペースを持つ規模のものが良いと思う。</p> <p>JR改札が2階部にも出来るのであれば、改札を出てそのままデッキで山陽百貨店やみゆき通りと結ぶのがよい。</p>	<p>デッキにつきましては、12街区の利用方法に大きく影響を受けるものと考えており、今後、12街区の利用方法を勘案しながら、ルートやデザインなど検討していきます。</p> <p>JR改札につきましては、高架切替に合わせ、フェスタビル内にある現在の中央改札、東改札、2階改札、地下改札は廃止され、改札は高架下(1階レベル)のみとなります。</p>
6	大手前通りについて	<p>大手前通りの中央を公園(歩道)とすることで、駅西・駅東地区の一体性を高め、中心市街地の活性化を図ることは出来ないのか。</p>	<p>大手前通りの車両交通量は、環状道路網が整備されると大きく減少すると予測されることや、駅前広場を中心とした内々環状線内は、人にやさしいまちづくりを目指していることから、将来的に検討していきたいと考えています。</p>

No.	項目	意見の概要	市の考え方
7	デザインコンセプトの方向性について	デザインコンセプトの言葉の輪郭を明確にして頂きたい。また、それが次にどう反映され何に繋がっていくのか。	デザインコンセプトとは、共通の思い(イメージ)を言葉で表したものと捉えており、駅前広場だけでなく、周辺の民間建物の建替えなどの際にも、共有したイメージでの建築をお願いしたいと考えています。
		市街地の「道」のあり方(一方通行解除など)を検討してからデザインコンセプトを議論する方が良いのではないか。	今後の参考とさせていただきます。
		姫路駅～姫路城を大きなデザインの枠の中で捉え、多様な繋がりのある街にしたい。また、まちづくりにおいて「サステナビリティ(持続可能性)」を一つのキーワードとしてはどうか。	
		交通機能の配置と意匠(モチーフなど)とを、同じ「デザインコンセプト」という言葉で括っていることが、議論が混乱する要因となっているのではないか。	
8	新駅ビルについて	新駅ビル用地について多くの意見が出ているが、今日までに様々な議論を経て現在の範囲になったと理解している。	市民(特に若い女性)が、神戸・大阪方面へ買物に行ってしまう現状であります。事業主である西日本旅客鉄道(株)へは、姫路にないサービスを要望しており、市民の市外流出を食い止めると共に、近隣市町さらに神戸からも集客していきたいと考えています。
		新駅ビルをより良いものとする要素の一つにデザインがあると考えている。新駅ビル西側は、大手前通りからの景観に配慮したシンボリックなものにしたい。	
		新駅ビルのデザインは、姫路らしさを出しつつモダンなイメージとし、姫路にあって新しさを感じさせるものが良い。	
		テナントは「姫路に、望む物・事・サービスがあれば遠くまで行かない」というアンケート結果を念頭に考えていく。建物は、みゆき通りに繋がるものにしたい。	
		新駅ビルが大手前通りの東側線より西に出ているとの指摘があるが、「出っ張り」＝「邪魔」と捉えるのではなく、むしろ街並の一つのアクセントやシンボルとなるよう意匠やデザインを工夫することが大切である。	

No.	項目	意見の概要	市の考え方
9	駅前広場について	<p>駅前広場に姫路城と対峙するシンボル性を持たせるという意見があるが、「姫路城」は世界文化遺産であり、それに勝るものは考え難い。対峙ではなく、姫路城との連携や共通性をいかに図るかという捉え方をすべきである。</p> <p>姫路城は、現代においては遺産でありシンボルである。一方、駅前広場は、市民が日常生活で利用しなければならない空間・施設であり、その利用に不便を感じるものでは良くない。</p> <p>駅前広場機能には、日常生活を支える交通結節機能が基本にあり、それを犠牲にしてまでシンボル性を追求すべきではない。</p> <p>駅前広場は、お年寄りなどが抵抗なく交通機能を満足できる形態を考え、その上で、どのような機能を付加できるかというアプローチで検討を進めていくのが良い。</p> <p>姫路城から駅に向かって迎え入れる「帰りの顔」となるように、中央コンコースを挟んで新駅ビルと対面する西側にもシンボルとなるものが必要だと思う。</p>	今後の参考とさせていただきます。
10	その他意見	<p>これ以上商業施設を増やしても、姫路のビジネスは成り立たない。</p> <p>姫路を県庁副所在地と位置付け、公共施設を整備して頂きたい。</p>	今後の参考とさせていただきます。
11	次回会議について	市民団体が独自にデザイン等に関するヒアリングなどを行い、次回会議において発表する。	(委員、事務局了承)